



神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク 会報第26号

KANAGAWA Rescue Support Bike Network News

2005年10月1日号, No.26

第26号の目次

- 1、 神奈川県・南足柄市合同防災訓練報告(2005.9.4) ...後藤 猛
- 2、 津久井赤十字病院防災訓練報告(2005.9.17) ...矢代幸雄
- 3、 日々是単車3 ...西山 圭
- 4、 05北海道ツーリング(2005.8) ...矢代幸雄
- 5、 編集後記

神奈川県・南足柄市合同防災訓練報告

2005.9.4



毎年9月には全国で防災訓練が行われる。昨年の中越地震をはじめとして台風、大雨など日本に災害は耐えない。ニューオーリンズのハリケーンの被害などは私人の手では何の抵抗も出来ない。しかしニューオーリンズでも被災者に最初に物資を届けたのは政府でも、国軍でも、警察でもなく、一人のボランティアであったという。神奈川RBもここ数年、毎年この訓練に参加している。有事の際何かひとつでも出来ることはないか。そういう思いで集まったRBメンバーであるが中越地震などを通じ実戦経験から来る訓練の必要性を感じて



その神奈川県では例年8都県市合同防災訓練の一環で県市合同の訓練を行ってきたが、昨年からは9月1日という8都県市合同の日程を重視するよりも9月の

ら来る訓練の必要性を感じていた。神奈川県の訓練でも神奈川レスキューサポートバイクネットワーク(RB)は防災関係者の間で認知され始めたようである。継続は力なり。ということだろう。

その神奈川県では例年8都県市合同防災訓練の一環で県市合同の訓練を行ってきたが、昨年からは9月1日という8都県市合同の日程を重視するよりも9月の

第一日曜日開催にして多くの方の参加を呼びかけるように転換してきている。

さてその訓練だが午前9時大雄山駅近くの南足柄市庁舎付近に設置されたボランティアセンターに集合する。今回の幹事の後藤による朝礼で訓練が始まった。今回は従来行ってきた物資搬送、情報伝達訓練に加え地元社協の方との連携訓練を盛り込みケアマネージャーをタンデムで乗車させ救援ポイントまで送り届けるなど中身の濃いものとなった。タンデム担当は矢代、夏賀、永野等技量の優れたメンバーが受け持った。

非常時に二人乗りで安全を確保しながら走るという修練の必要を感じた。他のメンバーは先遣隊として状況確認を行う班、支援物資の引き取り及び搬送する物資搬送班に分かれその訓練を行った。物資搬送班はメイン会場でのパレードにも参加した。今回



の訓練ではRBとして本部を設置しアマチュア無線による交信訓練も行った。本部には情報集約、RB全体の流れを記録する沢田、梶、ボランティアセンターとの連絡として山田が詰めていた。3台の無線

線を操りながらRBの状況把握、ボランティアセンター、県などと情報交換訓練を統括するのは大変に煩雑で有ったがメンバーの行動把握と言う目的は達せられた。参加者は16名と多くはなかったが会場にきた多くの市民の方が関心を持ってくれたのも収穫であった。以下は幹事であった後藤の報告である。(お)

H17年度総合防災訓練報告 後藤 猛



今年の訓練は昨年までの訓練形態を残しつつも、新しい試みを取り入れ、より実践的な内容にしました。この訓練を行った背景にはある方の「思い」があります。また、本番当日の朝までこの訓練が成功するか否か、非常に不安な点もありました。そんな裏事情を中心に報告致します。訓練内容に関しては、他のメンバーの報告によります。

今年の訓練準備は6月下旬の県主催第1回全体会議に始まりました。この時既に県側では例年とほぼ同じ内容で訓練シナリオを決めており、中越地震を経験した我々から見るととても現実離れした感否めなく、落胆した思いがありました。そんな中、監査の山田さんを通して「南足柄社協さんからボランティアセンター開設

矢代 幸雄

訓練に参加して欲しいと、お誘いを受けた。」との報告を受けたのは、全体会議から数日後のことでした。以後、社協さんの訓練取りまとめ役であるMさんと直接お話の中で、彼女は昨年の小千谷ボラセンで実際に活動した事。そこでバイク隊の威力と問題点を見た事。また、行政側は障害者・高齢者など災害弱者救済をあまり考えてないが、社協さんとバイク隊の機動力が組めばそこにも展望が見出せる。等々お話を聞きました。



その想いは我々（と言うより私個人の想い）と合致する所が多く、この訓練に重点を置く事にしました。時間的・人的制約の中、安全にかつ成果を最大限発揮するため、社協さんとは協議を

繰り返し、現地の下見によるルートを選定や、実地・図上シミュレーションは幾度となく行いました。しかし、不安要素として、ボラセン運営側の力量が全く未知数であったこと。我々の最終的参加人員が訓練当日まで読めなかった事。我々の事情に全く配慮しない県側の冷たい対応。そして何よりも、社協さんの主担当者Mさんご自身が訓練直前の火急な事情により参加出来なくなった事。などが重なり、不安以上に「恐れ」さえ感じていました。しかし、考えても不安は消える訳はなく、「経験豊富な神奈川RBメンバーを信じよう。」この思いに徹し、訓練当日の朝を迎えました。当日、予想以上の好天と同じ様にRBメンバーの晴れやかな顔を見た時に、全ての不安は消し去り、安心して第一陣としてボランティアセンターを出発致しました。以後、訓練内容と結果は他の皆さんの報告通りです。



神奈川RBメンバーは意識・力量ともに高く、とても頼もしく思えた一日でした。私個人としては、「大成功」だったと思います。訓練内容だけでなく、他の団体と協働し

て成果を出した事を評価したいと思います。この訓練を良い機会として南足柄社協さんはもちろん、他の社協さん、団体さんとも



協力する関係を構築して行きたいと思います。最後に、今回の訓練でお世話になりました事務局長のSさん、主担当者Mさん始め、南足柄社協の皆様にご心からお礼申し上げます。お世話になりました。本当にありがとうございます。



車椅子体験をさせていただいた、リハビリ室でボランティアのお手伝い内容の確認。神奈川RBからは山田隊員と矢代が参加である。当初、被災による傷病者の搬送を担当するはずだったが急遽、震災以前から入院している患者の役も担当することとなる。私は左アキレス腱損傷の役である。



地震発生後、医師が病室を回り容態の確認を行う。腕などの骨折の患者は病室を空けてもらうために退院してもらう。私のような身動きに制限がある場合にはそのままか、他

の病室に移ることとなる。初めての松葉杖の体験だ。4階から下の階に移る。左足を痛めている場合は右手で階段の手すりをつかみ左手で松葉杖を操作？する。介護者は階段の下から要介護者のベルトまたは腰の辺りの衣服をつかみもう片方の手は手すりをつかみながら後ろ向きで階段を下りていく。右足の場合は左右が逆になります。病室を移り入院患者の役目完了です。早速、搬送班役に戻るために2F受付周辺に集合する。非常に間違えやすいが津久井赤十字病院は国道から同じ高さの駐車場に入ってそのまま受付に行くところ2Fである。私はいまだに間違いすることが多い。搬送班では実際にタンカやストレッチャーを使用しての搬送。過去の、QQ法講習で教えていただいたことを思い出しながらかつ、今まで触ったことの無いストレッチャーの何気ない操作を看護師の方の操作から学ぶ取る。



サイドガードパネルの固定と解除、ホイールロックの固定と解除、寝台下の装備で判別するストレッチャーの前後足が進行方向を向くこと、タンカでは頭側を少し足側より持ち上

げることなど、様々だ。さて、搬送班の訓練は終了で次は津久井消防の駐車場側からはしご車による救出訓練である。号令、合図、掛け声大きな声で確認しあい一瞬の迷いも無い行動は見ているものを安心させます。隊員のきびきびした行動には感動しました。無事訓練も終了いたしました。今回の津久井赤十字病院防災訓練主催者からの挨拶とお礼の言葉をいただきました。今回の訓練は前回の津久井日赤病院防災フェアのボランティアの皆さんは

もとよりお世話にいらした懐かしい日赤救急法講習会指導員の田島さんにも会えました。

日々は単車-3

あの日、あの瞬間(とき)

2005.9

西山 圭



私は何をしていたのだろう。思い出すのにしばし考え込むくらい、私の日常は平穏だ。だが、忘れてたくも忘れられない悲しみと苦しみに、なんの前触れもなく襲われた人々が今も大勢居る。

あの日、あの瞬間。
平成 16 年 10 月 23 日 夕刻。

突如解き放たれた大地の力は、地を割き、山を崩し、家を倒し。新潟中越地震はそうして人々の生活を一瞬にして奪っていった。



あれからもうすぐ1年を迎えようとしている彼の地を訪れた。穂を垂らし、黄金色のじゅうたんを敷き詰めたような魚沼スカイラインを抜け、十日町市 - 小千谷市 - 川口町を愛車と共に駆ける。十日町市では馴染みの

蕎麦屋で名物のへぎそばを食した。これも1年ぶりの味だ。

比較的被害の小さかったこの街は、何も知らなければ震災にあった街とは思えないほど、商店街は整備され、活気があり、どこにでもある人々の生活が営まれている。しかし、そこから国道を小千谷市に北上するにつれ、道路のは継ぎ接ぎが増え、地震によって突き上げられたマンホールを埋めるための舗装はわだちとは違う不自然なギャップ(地面の凸凹)を生み出し、お



そらく4輪車では感じられないかもしれないが、バイクでは顕著に感じられるのだ。次第に工事現場の場所が増え、交通規制がされている。

その看板には災害復旧工事の

文字。

それがあればまだ良いのかもしれない。

所によっては1年前の姿そのままに、道路が陥没している所、路肩からガードレールが落ちて崖になったままの場所、また建物や塀に亀裂が入ったままになっているものも多く見られた。そんな場所を一つ一つフィルムに収めるうち、気持ちがととも一杯になり、それ以上シャッターを切ることが出来なくなってしまった。

ライフラインは繋がった。商店も、病院もやっている。新築の民家も多い。観光スポットには、大型観光バスでやってきた客



が賑やかに楽しんでいる。新学期が始まった子供たちは、路肩に停まる私の愛車を指差しては「カッコイイ!!」の言葉を投げかける。

一見、そこには変わらない日常の、当たり前時間が流れているように見えた。

しかし、未だ手付かずの震災の爪あとを目の当たりにして、決して震災は過ぎたものではないということ、復興は始まったばかりだというのが心に重さを残した。

夕刻、人々は年に一度の祭りに集った。夜空をまっすぐに駆け昇る光は、まるで復興に突き進む人々の想いそのもの。

漆黒の中に花開いた大輪の四尺玉花火はこの地域の誇りであり、これからの希望の証だったのではないだろうか。



平穏な日常を砕いた新潟中越地震に、人々は絶望を味わいながらも、生きることの素晴らしさや前向きな気持ちを、きっと今まで以上に感じていることだろう。

私は新潟中越地震の被災者ではないが、そうした新潟の人々の大変な想いを受け止め、そっと手を携えるようにサポートができないだろうかと切に願う。

あの日、あの瞬間。 そしてもうすぐ1年。

05年「北海道ツーリング」

愉快的仲間たちとの出会い

2005.8

矢代 幸雄



05年の北海道ツーリングは「愉快的仲間たちとの出会い」をサブタイトルに掲げた。

越後川口SAで去年私を見かけたと言うライダーが声を掛けてきたフェリー内では3人のライダーと宴会をする事になる。

出だしから宴会づくりの楽しい旅になりそうである。小樽に着き朝食はめしの半田や手稲店、惣菜が各種並びの中から自由に選べる24時間営業の大衆食堂である。さすがに刺身とかはないがおかずはおいしいし、すいている。昼食は音更高校教員推薦の海山亭、採算度外視のお勧め、御弁当680円が小会席料理のようなお重に入ってきた。

素朴な味がとてもいい。旬の秋刀魚焼きも入っていた。ホテルホリデイにチェックインここは元常広ユースホステルだったところで5階建てのビルである。現在2階から5階までが宿泊施設となっており5階がRH¥1500となっている。同室のライダーを引き連れてお馴染みの「味のや」へ。みんなで豚丼とラーメンのセットでメニューにはない「くまバイクセット」を注文する。ただし私はRHで5階から花火見ながら豚丼をツマミに一杯やるつもりなので豚丼はタッパーに入れてもらい一先先に帰る。



14 日道路拡張に関して立ち退きが決定した大阪屋食堂に寄ってみた。どうやら近所に移転して食堂もRHも移転先で再開するらしいので一安心。網走へ食堂の下見に行く、定食や「富公」と言うお店だ。出光の斜向

かいに見つけた。更に網走ではもう1軒気になるレストランがあった。「あんじろ」という軽食喫茶だ。駅前らしいので駅前のローソンでかき氷を買うついでに聞いてみたら3軒となりとの事ローソンでは京都ナンバーの4本出し!NAZUMAの隣にバイクを止める。持ち主は店内にいない様子駐車場でかき氷を食べていると女性が!NAZUMAに近づくので声をかけると持ち主であった。赤の!NAZUMAの4本出しは見た事がないが白の吉村バージョンから移植したそうである。富良野でいいRHを聞かれたのでクレッセを2食付で予約する事を薦めておいた。昼食は「あんじろ」でホワイトソースのかかったオムライスを食べきたそうである。私もたった今下見で店の写真をとってきたところだったことを話すと驚いていた。私はウトロ、彼女は北見方面との事で「お互いによい旅を」とローソンを後にした。今日の夕食は一休屋で「鮭親子丼」と酒のつまみにボンズホームの「欲張りグラタン」とカロリーが高めなので斜里町の温水プールでエネルギーを消費する事にした。



ボンズホームでチェックインした後一休屋で鮭いくら丼¥1300 を食する。今まで食べたいくらはなんだったんだろうと、思えるくらいにおいしい。鮭はトキシラズといって産卵期でないため筋子や白子がなく、そのぶん脂の

りに優れているものが乗っています。片付けさえ、きちんとすればボンズホーム宿泊者は2階で持ち込み宴会が可能です。欲張りグラタン¥900 をツマミに同室者と宴会、15日6:00ころ、ものすごい雨音で目が覚めた。天気はずっと良好のはずが…。なぜ今回のメインイベント知床観光船は中止と確信したが7:00ころにはやみ曇りだがオロンコ岩もよく見える。船も大丈夫だろうと思っていたが 出航決定の連絡がなかなか入らない。どうやら海上に霧が出ていて航海はGPSな



どで可能なのだが濃霧で陸が見えなく出航してもお客さんがっかりさせるだけの事で最終的に出航中止となってしまった。残念だが仕方がない。逆に良心的であるといえるでしょう。

ボンズホームのオーナーさん実は昔、道警交機隊の白バイ乗りだったんです。来年知床岬観光船ネイチャーウォッチングボードにリベンジする事を告げてボンズホームを後にする。本日、知床観光を済ませた後に泊まる予定だった羅臼 RH 赤い屋根に立ち寄る。女将さんと少し話が出来た。

ここの要予約の夕食ライダー定食¥1000 はとても豪華らしくてぜひ食べてみたかったので残念だ。根室は地元でうまいと評判のドリアンでエスカロップを食べる。評判どおりのおいしさ。その後、納沙布岬に向

かう、もっとバイクがたくさんいるかと思ったが6台くらいしかいなかった。おみやげやをのぞいていると店のおばちゃんが声をかけてきて無料のカニ汁をご馳走になった。身の詰まったカニもしっかり入っていておいしかった。昆布の佃煮もいただいたがこちらもとてもおいしかった。銭湯あけぼの湯にはコインランドリーもあるので脱いだものも一気に洗えるので効率がいい。ひとは多いが洗い場に待ちが出来るほどではない、背後から「やしろさん」と声をかけられて振り向くとフェリーでの宴会仲間M氏がそこにいた。近くのRHに泊まるとの事だった。お母婆に戻って同室のライダーとしばし雑談の後、食堂でビールとエスカを注文した。エスカ2連チャンの理由は食べ比べである、結果ドリアンとお母婆のエスカは甲乙つけ難くどちらもうまいしばらくライダー同士で盛り上がっていたが女将さんが声をかけてきてオーナーが捕ってきた鹿肉を差し入れしていただいた。ルイベ(凍らせた状態)から半解凍の状態と軽く火であぶった後氷水にくらせた状態と普通に焼いた状態の3種類をいただいた。どれもそれぞれに適した自家製のたれをつけていただいた。全然臭みがなくとてもおいしい。完全な赤身でいわゆる脂肪がほとんどない、どんどん進められるのでかなりの量をいただきました。レストランの外に出るとありきたりだけど手が届きそうな星空、天の川まではっきりと見えました。16日の朝食は根室のコンビニ・タイエーあけぼの店でやきとり弁当を注文、このやきとり弁当は24時間作ってくれるのだ。実はこれ鳥ではなく豚なのである根室周辺でやきとりと言うと豚串焼きのことを言うのである。味付けは塩・たれ・塩たれの3種類があり通はミックスで頼むらしい…。通ぶってみた。おいしかった。量的にはご飯小¥380 で丁度よい。花咲港の橋本商店で花咲ガニ(小)を注文する。いつも小ですが30分くらい格闘して平らげるので十分です。



本当においしいんですよ。ここは絶対を外せません。落石の辺りから厚岸辺りまでの海岸線沿いの道路を北太平洋シーサイドラインと言うそうです。普通夏のこの時期は一带が霧に包まれていて景色を楽しむことが

出来ないんですが今日は霧ひとつない快晴、晴れるととても景色のいいところなんですね。この時期北海しま海老は尾岱沼が禁猟時期なので今、尾岱沼で売られているものは厚岸産だそう。ちょっと早い昼食は厚岸海産で…秋刀魚刺身丼にも惹かれたが焼きかき定食 ¥1200 にした。



かきはすごくでかいし焼きかきとなっているがほとんどレア、ぶりぶりしていてジューシー。ここも定番ポイントになりそう、普段食べているかきには付いている黒い内臓みたいなものが

見当たらないのでご主人に聞いてみると「どの部分?」とか言いながらイクスからかきを取ってその場で殻を割って見せてくれましたがやはりありません。そのまま、食べていいよと渡されました。一瞬「えっ!夏に生かき?」と思いましたがつつい、そのままベロリンといただいてしまいました。これまたうま

い〜。腹は大丈夫でした。いわゆる表摩周にはじめて来た。裏摩周展望台は何回か行ったことがあるが表はまだなかった。ただし、第一は有料なので第3に寄り、今まで摩周湖で霧が出ていたためしがない、だから出世しないのか?今日の宿泊は川湯温泉街の蜂の家、今年から受付が福富食堂の隣の店?になった。受付のおっちゃん是不変わらない「大部屋開いてるよね」と言うど「前にも来てくれたんだ」と言われたどうやら覚えていない様子なので「この辺へ来るときはいつもここだよ」と大げさに言ってみた。今年から割引の効く食堂がお多福食堂になった。割引券をもらった。壁の記事であんかけを使わない替わりに半熟の玉子焼きを乗せる中華丼があることを知るなぞ、あんかけを使わないのか女将と若旦那があんかけが嫌いなのだそうだ。券に割引金額は書いていなかったが¥850が¥800になった。¥50引きまたは端数切りなのだろうか。帰りにいわさき酒店で十勝ワインを買ってみた。同室者はおとなしい方ですね。旅の情報を交換した後、とても健康的に早めの就寝、翌日も皆さん早かったで食の街、帯広にまたやってきました。目的はすし考房「山」の牛トロ丼¥700です。しゃり切れ準備中となっていたので六花亭に先に寄ってみた。さくさくパイと無料のコーヒーでしばしブレイクタイム、しゃりが出来た頃なので「山」に戻り牛トロ丼を注文、評判どおりおいしい次は道道75で新得に向かう。玉川菓子店にも寄り、ここは柳月で作られた三方六の両端を切り落とした部分売っている値段は¥588だ。焼酎にも合いそうで糠平温泉湯元館のおっちゃんへのお土産にするついでに宴会のツマミにしよう。



然別湖を通り過ぎて糠平温泉湯元館に到着、おっちゃんのCM400がガレージから出ている。よく見ると7月に車検を取ったようだ。へ〜復活させたんだ。

対外的には亭主開白なのだが本当はかかあ殿下なのだ。周辺の食堂がお盆開けの休みとすることで女将さんの手料理をいただくことにする。通常の宿泊客に出す料理ではなくシンプルな家庭の夕食と言う感じでおいしかったです。その後、おっちゃんも交えて本日の同泊者と柳月の三方六切落して宴会翌日、旭山動物園に行ってみた。ここは非常に有名な動物園だなんて全然知らなかった。廃業寸前だったらしいがいろいろな工夫を凝らして今では上野動物園の入場者数を超えたそうだ。園自体はそんなに広いわけではない。全国の動物園からも注目されているらしい。クレッセに戻ると見たことのある京都ナンバーのINAZUMAが停まっている。そう言えばクレッセを紹介したがお互いにいつ寄るなどの予定については話していなかった。別のライダーから「やっしーさん?」と声をかけられて驚いて振り向くと「04年知床観光ホテルで同室だったMです」「おお、本日の偶然2個目のこの「Mさん」クレッセではかなりの常連さんらしい。食事を予約した客が母屋に集まって夕食タイム網走からの再会 INAZUMA のNさんや知床観光ホテル以来の再会のMさんに互いに、その後などの報告話をネタにそのまま宴会タイムに突入した。散

々盛り上がった後、明日朝食前に皆で麓郷に行くことになった。麓郷ってけっこう遠いのね、拾ってきた家や石の家を見てクレッセに戻る。7:00朝食なのだが7:30頃になってしまった。ここは常連のMさんにわびを入れてもらうとして食堂に集まる。夕食¥500、朝食¥300、¥500でビールを除く飲み放題は安い。朝食後またまた、6台でメロン+ソフトクリームの「サンタのひげ」を食べに行くことになった。

まさか北海道でマストーリングをするとは思わなかったよ。Mさん達は三笠経由小樽方面、私は夕張経由虻田方面、途中まで一緒に走る。洞爺湖温泉大和旅館へは「今日行くよ」と何度も連絡したけど



いつも留守電だった。大和旅館へ到着、いつもの場所にとめる。フロントに顔出すと女将さんが笑顔で迎えてくれた。百合子さんご懐妊らしい、おめでとう¥500で割り勘の夕食があるらしい部屋は珍しく2Fの個室だった。雨でライダーが非難して来ているからだろう2階のトイレはちょっと狭いけど洋式でしかもウォシュレット付だ今度からRHが1階でもトイレは2階を利用させてもらおう。さっき言われた食堂に入ると確かに改装したの食堂がそこにあった。厨房ではいわゆる常連らしき人が腕をふるっている。大和旅館は居心地がいい、のんびり出来るよ風呂上りに仕入れておいたビールを一杯「ん〜うまい」。時間になったので食堂に下りていく。炊き込みご飯が出来上がっていて配膳を手伝う。差し入れとのごことで無料で振舞ってくれた黒ビールスタウトで 一斉に「乾杯!」せっかくなので厨房で腕をふるっていただいている方のお名前を中村さんに聞いて「腕をふるっていただいているTさんに乾杯」と私が音頭を取り2度目の乾杯! Tさんがたまたま持ってきた、たこ焼き器にご執心の中村さんご夫妻食堂のメニューに加わるのはいつ?でもたまたま持ってきただけだからたこ焼き器は絶対に置いて行かないとTさん。普段、食堂のメニューは中村さんご夫妻で作っているそうです。ちなみにTさんはこのRHのお客さん第1号だそうです。しばらくここで働いていた元JRのKさんのことも知っていたし…。そういえば、04年はバイトだったS君が今年は正社員になったそうです。昨年とはたまたま私と同室のライダーでロビーで宴会をしているとき厨房に入って皿洗いも手伝いました。旅館の厨房で皿洗いななんて簡単に経験できる者ではありません。皿洗いが終わるとまた、スタウトビールを勧められてツマミはたこ焼きです。このビールおいしいよ、もちろんタコ焼きもおいしい。Tさんいわく、通常メニューの中でもカレーは特にお勧めらしいです。噴火のことなどを中心にいろんなことを話しました。食堂も片づけがたい終わり部屋に戻ります。同室の人も就寝モードです。私もそのまま夢の中へZZZ…zzzz…。



朝風呂です。気持ちがいい、あれだけライダーがいて他にもちろ



ちろ



ん宿泊者がいるだろうにいつも空いている。自分ひとりか、多くても3人くらい。たまたま私が入るときに他に人がいないだけか？小樽方面に出発です。羊蹄山の周りをぐるりと回り余市のかきざき商店へ目的は海鮮食堂でうに丼、白ウニ丼¥1400 にしたけど奮発して赤ウニ丼¥2000 にすればよかったかな？今回小樽では交通博物館によるつもりである。ご存知かもしれないが子供の頃は鉄道マニアでNゲージにも手を出していた。今ではそこまでやっていないが特に北海道では廃線跡とかはけっこう好きであり感慨深いものを感じる。この小樽交通公園は交通公園と言う名の通り鉄道だけではないが元々旧国鉄の手宮線跡の一部を使用しているので ほとんど鉄道博物館といっても過言ではない展示内容である。私にはけっこう楽しめた。回転すし屋とっぴー小樽運河店に寄ってみた。普通に1食、食べるにはちときついのだ。注文するのは以前に食べて旨かったいわし、今が旬のさんま、定番のマグロの3皿¥360 である。さんまといわしは旨かったがまぐろは普通である。北海道でおいしいと騒がれるものの半分は量が多いことに騙されている事が多い、それと決して安くはないものも多いよ。さて、バイクをとっぴーに置いたまま、小樽を散策してみる。食堂の下見である、もちろんメニューの撮影と店の外観の撮影のみである。なんかツーリングなんだか取材なんだか判らなくなってくる、実際立ち寄りところの半分は下見である。本日はどんより天気がよくないのでうらちより走らず2時間ほどのんびり泳ごう。余市プールへ誰もいない私だけの貸切である。なぜか、それは苫小牧高校が決勝だからである道民はTVの前で応援しているのだろう。どうやら苫小牧高校が優勝したようだ監視員も盛り上がっている。



これでおしよるのおやっさんも機嫌がいいことだろう。まあ、残念だったねではせつかくの道内最後の夜が盛り上がりにかけてしまうので苫小牧高校の優勝は私にとってもラッキーだったのかもしれない。

いつものタイミングで夕食15分くらい前におしよるに戻る。ここの食事がすごいんだ。こんなに豪華で¥2380 でいいの？といつも思ってしまう。いつもは宴会に付き合うおっちゃんだけ今晚はどこかで祝杯を挙げるらしい。先に飲んでと言われテーブルの上に焼酎がポンと置いてある。本日の宿泊は夕食時にいた5人とどこかのライブに言っている二人の7名、このうち4名は私と同様の10:30発の新潟行きに乗るそうである。船内食の買出し等をサンクス長橋店でするなど翌日の計画を立てた。翌日、朝食がまた豪華普通の家庭で言うところの夕食でもおかしくない。でもけっこう皆残している。もったいないなあ。さて、出発前に、おしよる前で4人で記念撮影、おっちゃん、女将さんに別れを告げて出発。今回の乗船はバイクが一番ではない為におしよる4人組が2等で同室になるのは不可能である為に落ち着いたらロビーで集まるうと言うことになり一旦解散。



他のライダーと宴会しようなどと考えなかった去年までは船内ではただひたすら飲むか寝るかしかなかった。今回は飲むのは変わらないがひたすら寝ることは無かった。昼なのにしばら

く飲むと眠くなる。同じ行動を取っていると反応も似てくるのか一旦昼寝しようと言うことになり部屋に戻る。3時間くらい寝た。ごそごそ起き出してうらちよる散歩をしていると宴会場所も確保してあるらしい。手回しがいいこと(笑)ちょっと遅い昼飯を食べながらまた宴会TMを引っ張り出して来年のために情報交換だ。そのまま夕食までずっと呑んだり食べたり消灯時間ちょい前まで宴会がつづいた。おしよる組と新潟港前で記念撮影をして無事の帰宅を誓って別れた。北海道にしばらくいると涼しさになれて気がつかなくなるがある野で休憩したとたん猛暑がぶり返している。確かにこのまま涼しくなってしまうたら少し寂しいだろう。今回は泳いだり喰ってばかりいたので走行距離3232kmでした。

【その他のイベント】

運営ミーティング 8/7

ボランティアのための救護法研修会 7/19、8/16、9/20

防災訓練予行演習 8/7、8/28

近隣RB合同キャンプ 9/18-19

防災訓練反省会ツーリング9/23-24

・ ・ ! ! お知らせ ! ! ・ ・

神奈川RB携帯電話用サイト開設中

<http://k.excite.co.jp/hp/u/krpkrb/>

(i-mode/vodafone/EZwebの各形式対応)

編集後記

年に一度の防災訓練。訓練と言えども各自のスキルが試されます。被災者の方々には申し訳ありませんが新潟中越地震の経験を超えてメンバーの意思、個々の姿勢に頼もしさ、強さを感じるのには私だけではないと思います。実戦で培った経験を相互に共有することにより組織全体がパワーアップされてゆく。そんな手ごたえを感じた訓練でした。

さて、私自身は最近本業が忙しく中々ツーリングには行けませんでしたが逆にそんなときのほうがバイクに対する思いや憧憬が大きくなるものです。今月はツーリングには最適なシーズンになります。是非時間を見つけて走りたいものです。先日北海道の夕張メロンゼリーを作っている経営者の方とお話する機会を得ました。

その方はハーレーに乗っているのですが今年は夏休みをとり道北、道東を走ってきたそうです。商売の業績も上々とのこと。仕事も私生活も充実している典型だなと感心した次第です。その方からは毎年北海道ツーリングに誘われているのですが未だ実現していません。来年こそは北の大地に行くぞ。と心に誓うこのごろです。(お)

神奈川RB事務局

代表:井上哲也、事務局長:西山圭(旧姓辻谷)

郵送先:〒221 0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

かながわ県民活動サポートセンターレターケース No.81

Fax:045-312-1862(取次ぎ:レターケース No.81 宛て)

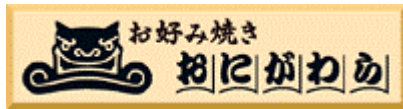
URL: <http://www2.airnet.ne.jp/krb/>

バイクによる災害時救援活動支援ボランティア

神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク会報(年4回発行)

発行者: 神奈川RB会報担当 太田隆行

神奈川RB会報発行にあたりまして、お好み焼き「おにがわら」様のご支援を頂いております。みんなで行きましょう!



関西風・広島風 お好み焼き おにがわら

店主: 中島信義 山梨県北巨摩郡大泉村 Tel: 0551-38-4030

JR小海線甲斐大泉駅北約1.5km・ダイヤモンド八ヶ岳ホテル前

夏季(7・8月) 11:30~14:30、17:30~20:30(火・水定休、祝日は営業)
上記以外の期間 11:30~14:30、17:00~20:00(火・水定休)

おにがわらでは新メニューを用意して皆様のお出でをお待ちしています。

念の為営業を確認の上お出かけください。